

洛東園 だより

■平成25年10月発行 社会福祉法人 洛東園

■発行責任者:木村晴恵

■〒605-0981 東山区本町15丁目794

■電話番号:561-1171 ■FAX:531-8372

■ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>

ご挨拶～輪～

社会福祉法人 洛東園 副園長 西村 英亮

秋晴れの候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、社会福祉法人洛東園副園長に拝命を受けました西村英亮でございます。平成6年の4月から17年間介護の現場で、そして平成23年10月より東山区清水五条の特別養護老人ホーム修道洛東園で施設長をさせて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。

来年のことを言えば鬼が笑うと申しますが、早いもので平成26年4月を迎えますと東山区で高齢者福祉に携わって20年を迎えることになります。振り返ると、温かい地域の皆様に育てられ支えられて、助けて頂きながらの20年間であったと感じています。心より感謝申し上げます。

近年、全国的な問題として、少子高齢化や地域に関心を持つ人の減少等により、地域の活動に参加する人や自治会等の地域団体に加入する人が少なくなってきた現状があります。「地域のつながりが弱くなってきた」「担い手に若い

世代がいない。活動を続けていけるか気がかり」という声も聞かれますが、東山区には素晴らしい地域の輪、地域のつながり、地域力があると強く感じております。

この温もりある東山区において、地域の皆様と協力、連携をさせて頂きながら、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らせる地域づくり、地域の活性化に向けて理事、評議員、職員が一丸となって取り組んでいく所存でございます。

今後とも東山区の皆様方をはじめ、多くの方々からの社会福祉法人洛東園への以前にもましてのご支援、お引き立ての程、心よりお願い申し上げまして、ご挨拶と代えさせて頂きます。

平成25年10月20日(日)に、洛東園まつりの開催を予定しております。今年度の洛東園まつりのテーマは「わ」～つながり～ となっております。多くの皆様の参加をお待ち致しております。

洛東園の理念

- 個性・自主性を尊重し明るい温もりのある生活
- 安全と快適な暮らし
- 地域に根ざした開かれた施設

□ 養護老人ホーム

“まき絵”がつないだ輪

利用者○さんは、目は不自由ですがとても手先が器用です。昔は裁縫が得意で、着る物もご自身で作っておられたそうです。普段、職員に「何かすることないかな」と、よく話されるので、食器洗いやタオル置み等のお手伝いをお願いしています。

昔のように裁縫をすることはできにくくなりましたが、○さんには、今、夢中になっていることがあります。それは、いろ紙を筒状に巻いて下絵の上にのせていく“まき絵”と呼ばれるものです。手先の感覚を頼りにわずかな隙間を埋めていきます。その時には、筒の高さにも気を配って、こだわりながら作品を仕上げていきます。一つひとつの作業を丁寧に取り組む姿はまるで職人のようです。

今までに10個の作品が完成されました。出来上がった作品の一つをコンテストに応募したところ、なんと、大賞をいただきました。そのような作品の数々は診療所の前に飾っています。そうすると、診察に来られる利用者さんの間で、待ち時間の合間に作品を見て話がはずむ光景が日常的に見られるようになりました。作品に興味を持った利用者さんの中には、「どうやって作るの?」と、作り方を興味深く尋ねて来られる方もいます。作業の流れを説明すると、“まき絵”が出来上がるまでの細かい作業に「すごい」と驚いておられました。

これからも、“まき絵”がつないだ輪を大切にして、四季折々の“まき絵”的作品を飾っていきたいと思います。ご来園の折りには、是非、立ち寄ってご覧になって下さい。



□ 介護予防推進センター 仲間の輪



「輪」という字で思い浮かぶのは、年輪と言う言葉です。それは、人間に例えるなら多年にわたり積み重ねられてきた経験や実績というかけがえのない証です。歳を重ねる毎に体力的な若さは衰えますが、心の年輪は増えていくのではないでしょうか。

私達、東山区地域介護予防推進センターでは、心の年輪をいっぱい持った元気な高齢者の方達が集まり、楽しく介護予防に取り組まれるよう、支援しています。

「輪」という字は英語に直すと、「a circle」(サークル)です。

東山区の元気な高齢者のみなさんは、自分達で「輪」というものを作られています。東山区では、介護予防の運動教室に3ヶ月以上通われ基本の運動や介護予防を理解した上で、継続したい

と思われる方々が集まり作られた自主的なサークルがたくさんあります。

みんなで企画を練りウォーキングに出かけたり、違うサークルにも呼びかけ仲間を増やしたりもされています。そしてバスを貸し切って少し遠くへグランドゴルフを楽しみに行ったりと精力的に活動されています。このようにどんどん「輪」が広がっています。

個々では出来ない体操が、気の合う仲間と一緒にならば、出来てしまったり、お喋りに花が咲いたりと「輪」の力は素晴らしいと思います。

「輪」とは、人とのつながり。人とつながれば未来も広がる!!

その為には、元気な身体と気持ちと行動力です。家に閉じこもっていても何も始まらないですよ!日々の暮らしに潤いを持たせて頑張りましょう♪



□ デイサービスセンター

『創作の輪』が生み出す



デイサービスでは、毎月、利用者さんと一緒に相談して壁面作りに取り組んでいます。壁画は、2枚の大きな模造紙を使って作ります。8月の作品が、利用者さんや職員にも大変評判がよかつたので、どのようにして作ったのか、ご紹介したいと思います。

8月の壁画のテーマは、『京の山に花火』を打ち上げる事になりました。作品作りは3つの工程に分かれて取り組みました。

一つ目の工程は花火や山の部分が、立体的に出るように、色和紙を水にひたし、一つ一つ丸めて作りました。手先の器用なHさんは、「団子を丸めるようなもんやなあ～皆でやつたらすぐできるで～」と楽しそうに手を動かされていました。

二つ目の工程は、丸めてもらった色和紙を模造紙に貼りつけ、山や花火を表現してもらいました。細かい作業でしたが、たくさんの利用者さんが、参加され、あつという間に色和紙が無くなり、追加して色和紙を丸めてもらうほどでした。

三つ目の工程では、絵画が得意なIさんに背景を描いてもらいました。



出来上がった作品は皆さんで眺め、「良く出来てるやんかあ～」と褒め合いながら、次回の作品作りに意欲をわかしておられます。この秋はどんな作品が出来るか楽しみです。

□ 訪問介護 支援の輪

最近、援助を必要とされている高齢者の方々が増えているとの報道をよく耳にします。実際、私達ヘルパーが、援助で訪問させて頂いているお宅も増え続けております。

ヘルパーが行う援助は、掃除、買い物代行などの生活援助から、排泄、入浴の介助などの身体介助まで、その内容は幅広いものです。その為にご本人、家族様を中心にケアマネジャーが調整役なり、様々な専門職(訪問看護、往診の医師、訪問介護、訪問リハビリ、訪問入浴、通所介護、通所リハビリ、薬剤師、福祉用具など)が集まって、ご本人、家族様の役割をはじめ、それぞれのサービス内容を確認して決められています。

ヘルパーは利用者さんのお宅を訪問した際、援助を行いながら気をつけている事があります。それは、利用者さんがいつもとお変わりない事を確認する事です。そしてその確認した事を、すぐに報告する事が大事なのです。

少しの変化も見逃さず、変化が見られた際は、早急に報告することで、必要な対応を行なうことができます。その積み重ねが1日でも長く在宅で生活することにつながると思っております。

迅速に上司に報告する「縦の輪」、次に訪問するヘルパーに報告する「横の輪」という二つの的確な連携で繋いでいます。そして状況に応じ素早くケアマネジャーに報告、連絡を行える体制をとっています。

いろいろな専門職の方々との連携の「輪」、ヘルパー同士の「輪」、又地域の方々との「輪」で、これからも利用者さんの生活を支えていくお手伝いができればと思っております。この支援の「輪」が、今後も広がっていくよう努力していきます。

□ もみじの家 地域の輪の中で

「もみじの家」には、必ず回覧板が回ってきます。内容を確認した後、印鑑について、利用者さんと一緒に、お隣にお届けします。そして、その内容に基づいてスケジュールを立て、ご町内の皆さんと同じように、色々なことに参加するようにしています。例えば、利用者さんと一緒に地蔵盆や運動会等に参加をしました。

最近では、7月に元貞教小学校のグランドで、毎年行われる貞教夏祭りに参加をしました。会場に着くとすぐに地域の方が空いている椅子を教えて下さり、利用者さんはその椅子に腰かけて、ゆっくりとお祭りを楽しむことが出来ました。浴衣を着た



小さな子ども達もたくさん参加をしておられ、子ども達の姿を見た利用者さんは、「かわいいねえ」と目を細めておられました。

これからも、様々な地域の行事に参加する事で、「もみじの家」と地域とのつながりを強め、一緒に利用者さんを支えていきたいと考えています。更に今後は、出ていくだけでなく、「もみじの家」に地域の方が来て下さるような催しを企画して行きたいと思っています。

地域の輪の中に、「もみじの家」も入れていただいている事に感謝し、皆さんと一緒に、地域を支えていく存在でありたいと思っています。

□特別養護老人ホーム「修道洛東園」 “輪”～つながり～

修道洛東園では、お一人おひとりの生活習慣や好みを尊重し、施設に入所されても、今までの暮らしで大事にされていたことを少しでも継続するようにサポートさせていただいている。その中で、朝食について話をさせていただきます。

ある日会話の中で、Sさんがボソッと「家では毎朝食パンを焼いて、ゆで卵を食べてたんだ。」と話されました。施設に入所したことで、家では朝食時にゆで卵を食べていたのに、家族さんの面会時にしかゆで卵を食べることができなくなっていたのです。なんとかして、今までの様に朝食時に食べられるようにならないかと考えました。そして家族さんに相談し、電子レンジでゆで卵が作れる容器の購入をしました。今では毎朝ゆで卵を満足そうに食べておられます。



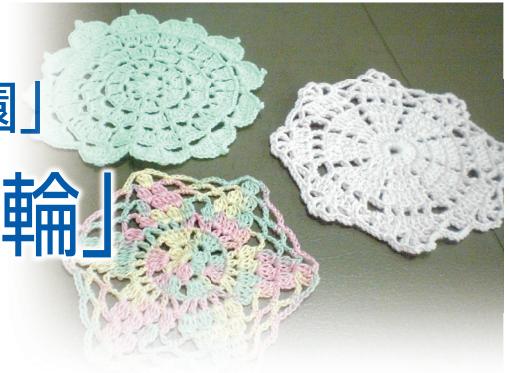
6月に入所されたMさん。奥さんから、こんな相談がありました。実は2人で作り上げてきた長い結婚生活において「手作りのパン、ジャム、ヨーグルト、バナナ、そしてミルクティが朝食のメニューでした。これを出来る限り届けるので、続けさせてあげたいと思うのですが、ダメでしょうか?」丁度、Sさんのことがあった矢先のことだったので、職員もできる限り協力しましょうということになりました。Mさんのいきいきとされている表情は、読者の皆様のご想像におまかせします。

私達は、その人の様々なこだわりや習慣を可能な限り施設でも継続できる輪を作り上げていきますので、ご家族の皆さん。利用者さんのかだわりを、是非、お聞かせください!!



□ 特別養護老人ホーム「洛東園」

編み物が織りなす「輪」



陽も徐々に短くなり、心地よく過ごし易い季節となりました。

秋は「食」「紅葉」「趣味」何をするにも良い季節ですよね。

特養でも、趣味に取り組む利用者さんの姿が見られています。

利用者Aさんは、ショートステイを利用されています。

Aさんは、編み物を昔からされている様で、ショートステイを利用される時は必ずレース編みセットを持参されます。そして、ソファでレース編みを熱心に取り組まれている姿をよくおみかけしました。出来上がったレースのコースターは、思わず感心し、見入ってしまう程細かく綺麗な物でした。

Aさんがショートステイの利用を終え、自宅へ帰られ、2.3日経った日の事でした。Bさんがかぎ針で毛糸を編んでいる姿がありました。職員が話を聞くと、「Aさんを見てたら私もしてみようかなと思って、昔はようしたんやけどな」と笑顔で話されました。

その時のBさんの手つきは、決して慣れているとはいえませんが、昔の記憶をたどりながら、一目一目編んでおられました。

しかし、その後ショートステイを利用されたり戻されました。今では、コースターや鍋敷き、足置きカバーなどの大作が次々と完成しています。

この編み物を通じて、2人の輪は深まり、今では、BさんがAさんのショートステイ利用を心待ちにされています。



施設名	月	10月	11月	12月
養護老人ホーム		洛東園まつり	食事会	年末忘年会
特別養護 老人ホーム	洛東園	洛東園まつり	紅葉ドライブ	家族交流忘年会
修道 洛東園		洛東園まつり	紅葉散策	忘年会
デイサービスセンター		運動会	おやつフレクリエーション	クリスマス会
もみじの家		洛東園まつり・お誕生日会		クリスマス会
全体		洛東園まつり		

その他、クラブなども随時行っております。

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日(至)平成25年3月31日

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
人 件 費	799,140,812	介護保険収入	920,435,737
事務費支出	167,550,495	措置費収入	172,745,047
事業費支出	153,046,289	診療報酬収入	28,995,285
減価償却費	79,766,479	その他の事業収入	88,975,824
引当金繰入	12,575,085	経常経費補助金収入	5,767,412
		寄付金収入	2,513,139
		雑収入	1,364,047
		国庫補助金等特別積立金取崩額	20,312,409
事業活動支出計	1,212,079,160	事業活動収入計	1,241,108,900
借入金利息支出	9,422,560	受取利息配当金収入	15,784
雑損失	3,303,931	雑収入	852,773
事業活動外支出計	12,726,491	事業活動外収入計	868,557
固定資産処分損	60,733	施設整備等寄附金収入	14,530,000
その他の特別損失	2,612,081	その他の特別収入	2,620,955
特別支出計	2,672,814	特別収入計	17,150,955
次期繰越活動収支差額	1,004,545,826	(当期活動収支差額)	31,649,947
		前期末繰越活動収支差額	972,895,879
支出の部合計	2,232,024,291	収入の部合計	2,232,024,291

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	573,667,055	流動負債	84,768,523
固定資産	1,994,210,610	固定負債	935,002,782
うち基本財産	1,618,838,277	負債の部合計	1,019,771,305
うちその他の固定資産	375,372,333	純資産の部	
		基本金	143,995,429
		国庫補助金特別積立金	384,253,255
		その他の積立金	15,311,850
		次期繰越活動収支差額	1,004,545,826
		(うち当期活動収支差額)	31,649,947
		純資産の部合計	1,548,106,360
資産の部合計	2,567,877,665	負債及び純資産の部合計	2,567,877,665

第三者委員について

例えば、「こんなことがあったけど、洛東園の職員には言いにくいな」など感じられたことは、ありませんか?

そのような時は、下記の方々に「あなたの声」を聴いて頂ける仕組みです。

電話でも受け付けています。どうぞ、ご活用ください。

奥本 喜裕

九条のぞみの園施設長

075-662-3961

近藤 真弓

家族代表

075-541-7632

松田美智子

天理大学教授

0595-61-3426

松永 洋子

貞教学区児童民生委員会会長

075-561-4234 (五十音順)

季節の変わり目は
身体に気をつけてお過ごし
ください。



洛東園だより

発行／社会福祉法人 洛東園

〒605-0981 東山区本町15丁目794

電話番号:561-1171 FAX:531-8372

ホームページアドレス

<http://www.wf-rakutouen.com>

※尚、記事中の写真は全てご本人様、ご家族様の
承諾を得て掲載しております。